

教科	科目	使用教科書・副教材	単位数	対象学年・組
家庭	家庭基礎	『家庭基礎 自立・共生・創造』（東京書籍）	2 単位	第 2 学年 A ～ H 組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域および社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1. 自分らしい人生をつくる ・自己と他者、社会との関りから様々な生き方があることを理解し、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、ライフステージごとの生活課題に対応し、意思決定していくことの重要性について理解する。 ・生涯を見通して自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および職業生活について問題を見出し、課題の設定、解決策の構想・実践・評価・改善、考察を行う過程を通し、課題を解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。また地域社会に参画しようとするなど、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・自立について考える ・自己概念を高める ・目標設定と意思決定 ・自分のライフスタイルを考える ・家族・家庭をどうとらえるか	・他者とのコミュニケーションを通し、自己についての理解を深めるとともに、様々な考え方や価値観があること理解している。（知） ・他者との対話を通して、自己のものの見方や感じ方、考え方を深めるとともに、他者と共に問題解決に向けて主体的に話し合っている。（態） ・自立した生活を営むために、必要な情報を収集したり、資源を活用したりして、意思決定をしていくことの重要性について理解している。（知） ・将来の生活に起こりえる課題やリスクを想定し、自分なりの解決策を考えることを通して、課題解決力を身に付けている。（思） ・家族の捉え方は様々であることを理解し、自分らしい人生を展望し、考えている。（思） ・ライフプランの見通しを立て、そこにおける課題を見出し、今できることを考え、実践しようとしている。（態）	○	○	○	5
	2. 子どもと共に育つ ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもとを取り巻く社会活況、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切にかかわるための基礎的な技能を身に付ける。 ・子どもの健やかな発達のために親や家族および地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見出し、課題の設定、解決策の構想・実践・評価・改善、考察を行う過程を通し、課題を解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもの生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、地域社会に参画したりするなど、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・子どもの育つ力を知る ・親として共に育つ ・子どもと関わる（保育実習） ・これからの保育環境	・乳幼児期の子どもの心身の発達と生活について理解し、乳幼児と適切にかかわるための基礎的な技術が身についている。（知） ・現代の子どもたちの健やかな発達において、親や家族、地域や社会が抱える問題を幅広い視点で抽出し、課題解決のために何が必要かを考え、考察したことを論理的に表現している。（思） ・現代の子どもの生活と保育に関する課題解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしている。（態） ・地域社会に参画し、自分や家庭、地域の保育環境の改善や充実向上を図ろうとしている。（態）	○	○	○	6
	3. 衣生活をつくる ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料、被服構成、被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・被服を取り巻く社会環境に問題を見出し、その課題を解決のために個人および組織にどのような解決策があるかを検討、実施し、考察したことを根拠に、論理的に表現している力を身に付けている。 ・衣生活を取り巻く社会環境の課題に対して主体的に取り組んだり、地域社会に参画しようとしたり、自分や家庭、地域の生活の充実向上のために実践しようとしている。	・被服の役割を考える ・被服を管理する ・これからの衣生活 ・被服実習	・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。（知） ・被服の計画・管理に必要な技能や知識を身に付けている。（知） ・衣生活を取り巻く社会環境に関して問題を見出し、持続可能な衣生活を実現するために個人および組織として、どのような解決策があるかを検討、構想、実施し、考察したことを発表するなど、問題解決力を身に付けている。（思） ・手縫いやミシン縫いの基礎的な技能を身に付け、被服の繕いやリメイクなど、衣生活の環境への影響も考慮して、被服の管理を自ら行おうとしている。（知・思・態） ・衣生活を取り巻く社会環境の課題に対し、アップサイクルやリサイクルなどの手法を用いて主体的に解決しようとしたり、地域社会に参画したりしている（態）	○	○	○	14
	期末考査			○	○		1
2 学 期	4. ホームプロジェクト ・ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。 ・自己の家庭生活や、地域の生活と関連付けて生活上の問題を見出し、課題の設定、解決策の構想・実践・評価・改善、考察を行う過程を通し、課題を解決する力を身に付ける。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動を通して課題の解決に主体的に	・課題の設定 ・実施、考察 ・発表資料作成 ・発表、自己評価、相互評価	・ホームプロジェクトの意義と趣旨を理解し、実施方法に従って実践、まとめ、発表している。（知） ・各自の家庭生活に問題意識を持ち、独創的で具体的な課題を見出し、課題を設定している。（思） ・課題解決のために、複数の視点や方法を用いて論理的に計画し、解決策を実施、科学的な根拠をもとに評価・改善のサイクルを回し、考察したことを資料にわかりやすくまとめ、発表している。（思） ・ホームプロジェクトの実施に主体的に取り組むことで、生活を改善していくことの意義を理解し、生活のさらなる向上を図ろうとしている。（態）	○	○	○	2

	取り組んだり、地域社会に参画したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。						
	5. 食生活をつくる ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、主体的に持続可能な食生活を営むために自己や家族の食生活計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、生活と環境とのかかわりを踏まえて、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている ・持続可能な社会を目指す観点から問題を見出し、課題の設定、解決策の構想・実践・評価・改善、考察を行う過程を通し、課題を解決する力を身に付けている。 ・持続可能な社会に向けて、食の安全や食文化の継承、健康や環境に配慮した食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、地域社会に参画したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・食生活について考える ・食事と栄養・食品 ・食生活の安全と衛生 ・家族のための食事計画・発表 ・調理実習	・ライフステージに応じた栄養の特徴を理解し、健康に配慮した献立計画をすることができる。(知) ・健康で持続可能な食生活のために、食品の選択や管理に必要な基礎的な知識・技能を身に付けている。(知) ・和食の特徴を理解し、食文化継承を考慮した献立作成を主体的に取り組んでいる。(知) ・食環境を取りまく国内、世界の現状を理解し、持続可能な食生活を実現するために、幅広い視点で課題を見出し、解決のために何が必要かを、情報収集を行い論理的に考え解決策を立て、実践している。また得たことを考察して、分かりやすくまとめ、発表している。(思) ・家族のライフステージなどに応じ、安全・環境・健康を考慮した献立を実現するために必要な基礎的な技能を身に付け、これを家庭において主体的に行おうとしている。(態)	○	○	○	14
	6. 経済生活をつくる ・家計の構造や生活における経済と社会との関り、家計管理について理解している。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解しているとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 ・将来を見通した家計管理や計画、また自立した消費者として意思決定に基づいた行動や責任ある消費をすることについて、問題を見出し、課題の設定、解決策の構想・実践・評価・改善、考察を行う過程を通し、課題を解決する力を身に付ける。 ・持続可能な社会に向けて、消費行動と意思決定について振り返って改善したり、地域社会に参画したりするなど、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために主体的に実践しようとしている。	・家庭経済の仕組み ・消費行動と意思決定 ・消費者トラブルと対策 ・生涯の経済生活を見通す ・持続可能な社会を目指して	・給与明細を適切に読み取ることができる。(知) ・収入と支出を管理することが経済の自立に重要であることを理解している。(知) ・様々な情報を適切に収集・整理することで、適切な意思決定ができることを理解している。(知) ・家計管理では、十分吟味した意思決定による消費行動が重要であることを理解し、主体的に実践しようとしている。(態) ・自立した消費者として意思決定を行う上で、課題に対し解決策を考案し、実践し、得たことを考察して、論理的にまとめ、ロールプレイなどで分かりやすく表現している。(思) ・家計のシミュレーションなどを通して、現状の家計管理力の課題を認識し、自立のために日々の生活の中で主体的に家計管理を実践しようとしている。(態)	○	○		11
	期末考査			○	○		1
3 学 期	7. 住生活を営む ・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解していると共に、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・住居の機能性や快適性、住居と地域社会とのかかわりについて問題を見出し、課題の設定、解決策の構想・実践・評価・改善、考察を行う過程を通し、課題を解決する力を身に付ける。 ・持続可能な社会に向けて、住生活と住環境についての課題解決に主体的に取り組んだり、地域社会に参画したりするなど、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・住居の機能と変化 ・住生活の計画と選択 ・社会環境と住居 ・インテリア実習 ・防災について	・防災や安全、環境に配慮した住居の機能について理解し、住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。(知) ・住宅の間取りや平面図などを正しく読み取ることができる。(知) ・ライフステージに応じた住生活の特徴を理解し、安全で快適な住生活について考え、レポートなどで表現している。(思) ・住居と地域社会のかかわりについて、防災や環境、安全性などの様々な視点から問題を見出し、解決策を構想し、実施して得たことを考察して、論理的にまとめ、分かりやすく発表している。(思) ・地域の防災意識について考えたり、地域の生活環境の向上のために、主体的に地域活動に参画したり、関わろうとしている。(態)	○	○	○	10
	8. これからの生活を創造する ・これまでの学びを通して、なりたい将来像を描き、そのために必要な資源の活用を考え、リスクへの備えを考慮して自分らしいライフプランを立てる。	・ライフプランを立てる	・人生で起こりえるリスクを想定し、資源を活用して対応していくことで、自分らしい人生をデザインすることができる。(知・思) ・将来を思い描き、現在の課題を把握し、課題を見つめ、今そしてこれから何が必要かを考え、実践し、得たことを論理的にまとめ、表現している。(思) ・人生を歩む上で人とのかかわりが重要であること理解し、主体的に共に助け合っていこうとしている。(態)	○	○	○	6
							合計
							70

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
定期考査を中心に、ワークシート、作品、提出物など	定期考査を中心に、作品などの提出物、発表内容など	・授業や発表への取り組み姿勢とその内容など ・提出物の内容など